

日刊 發行編輯人 川崎文市 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

刊夕日九十月二十

定価 一月五元 三月十三元 半年二十五元 一年五十元 零售 五分

電話 六三〇番

常盤論壇

景氣の根柢 (35)

經濟學博士 太田正孝氏述

民権主義と云ふのはお互權利を擴張して無闇に壓迫しないよう、帝國主義に反對しようとする道義である。民族主義と云ふのは漢民族に依つて支那を統一したいと云ふ主義である。又民生主義と云ふのは社會主義だと云ふのでありますが、そのうではないのであります。孫文自身が思つて居る通り支那には二つの階級はない富んだ人間と貧乏人階級はない、若し階級を付けたら、それは全部貧乏人であ

つて唯其の中に大貧乏と小貧乏とあるに過ぎない。其の大貧乏に對しては支那の國情としてマルクス流の考を支那へ持つて來ることは全對出來ないと云ふことを彼は幾多の機會に於いて示されて居るのであります。支那では孫文の遺囑を申し、恰度日本で教育勸語を讀むやうに多くの人の集まつて居る所でそれを讀むさうであります、それはどんな事か書いてあるかと云ふと、我れ政治に携はること四十年、三民主義を以て立つて來たが、未だ世の中には行はれて居らない。それをしつかりやつて呉れと云ふ意味が書いてある。其の意味を受繼いで其の實行方法はどうなつて居るか知れないが、今南方政府がやつて居る其の孫文先生のやり方は、外務省の佐々木君などの意見も同じことであるが決して社會主義の天下を作らうと云ふのではない。其の點は心配はございませぬ。景氣と云ふものは取扱ふ上から見ましたならば、支那と云ふ國はどうなつて行くかと云ふことに就いて何とも申し上げ兼ねますが昨年よりも悪い材料、悪い根柢に他方關係が置かれて居ることではないと言ふことが言へる。(つづく)

マルトモの新年忍びがき 文字ハガキ、カレンダー、マルトモノ クリスマスカード 年々圖案が變り 美しさをますますばかり 一度はお目を通して 置ませぬと 文化の大勢に 遠ざかります

常用日記 懐中日記 各種筆鑑 會計用品々 和洋帳簿 復寫帳類

不景氣時、遠くまで送るに完全な帳簿と正確な記録が必ず要です、マルトモの名入特製品をおすゝめ致します

マルトモ

柴田書店

平町四丁目停車場通角 電話二三四番

歳末贈答品ニハ ショール 本毛シャツ 婦人ジバン メリヤスシヤツ 都 卷 下 タオル箱入 特製右輪ノ箱入モ出來マシタ、 便利ノ商品券 其他便利ナ品各種取揃ヘマシタ

電話百四十番

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清忠
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

平町田町 電話五二二番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平南町(電話一七〇番)

飲むとすぐキク クノ一散

齒痛、神經痛、頭痛の特効藥

平町各藥店に販賣す 試みられよ、

名特 入手 拭供

福島縣平町五丁目 吉田屋 染工場 (電話五五八番) (振替仙台五三二八番)

徒弟入用 一十三四歳位ノ者四五名

生立卵

平町搔毬小路

鈴木鳥肉店

電話六五四

御注文次第多少に拘らず届致します

外科専門

上田外科醫院

入院應需

平町南町 電話一二九番

日本蓄音器商會 日本樂器會社 合同蓄音器會社 特約代理店 御 三幸堂 小賣 平町二丁目

帝國在郷軍人會々歌レコードは當店にあります (カタログ進呈)

シーズンは今 此のチクオンキが レコード拾枚付で 金四十五圓也

磐城病院

平町田町本通り 入院隨時(電話二一四番)

内科、外科、婦人科、小兒科、花柳病科。

十字屋洋服店

平町停車場通り

値段は昨年より二割安 立襟上下 拾圓ヨリ 春廣三組 十三圓五十 鏡ヨリ 六七圓位ヨリ

其他變つた新形洋服を澤山 取揃ひてあります

生菓子

ね待かねの特製

イヨク、本日より發賣致します

又祝折詰物 大勉強致します

外に永野特製パン、日曜日毎に二割引是非御來店を乞ふ

永野キャンデー

平町二丁目 電話七五五番

年中杜絶えぬ 礦山試掘願ひ

外れ、ば事だが當れば山は、
 多難の事業はない従つて
 打ち續く業界不況にも拘ら
 ず石城郡下の礦山試掘願ひ
 は年々年中絶えぬ事とな
 仙臺礦山監督局への試掘
 願ひは、

今年でも 平均十件
 を下らないといふ尤も歐州
 大戰當時の驚異的レコード
 に比較するときは四分の一
 乃至五分の一にも達しない
 状況だがそれは論外で當時
 は亂發的のものも少くなか
 つたさうだ概して當今の出
 願には其頃のものと異なり
 よるものが多いやうだから
 これに資本と技術の進歩が
 伴へばその業績は見るべき
 ものが現れ、たらうが何所
 も同じ金融の梗塞はこのと
 ころ礦業家は何れも有望な
 山をながめて長嘆の体はな
 かりうかと

大尉で休職後 醫學に入學

齒科醫を開業した
 醫學の佐川君

明治三十九年の春第六回の
 卒業生として警中を巣立つ
 た佐川君は日露戰爭

直後 の折柄勇 壯な軍國主義の理想を胸に

描いて二三の級友と共に首
 尾よく試験に合格し年來の
 希望たる士官候補生となつ
 た、爾來少尉から中尉、中
 尉から大尉に氣鋭の少壯士
 官として順調な道程を辿つ
 たが正十二年中二十九聯
 隊の大尉

副官 當時病氣 のために依頼休職となつて

十數年來の軍隊生活から退
 いた、そこで將來中等學校
 の体操教員位に落ちてある
 と考へた君は、どうせ寝てゐ
 る程の病氣でもな、休職の
 期間を晩暮き乍ら勉學に志
 だけを夫人をばはじめ數人の
 老幼を提げて大阪に移りそ
 この齒科醫專の

生徒 となつて 不惑近い休職大尉の君は紅

顔年少の生徒に伍して孜々
 竟に齒科醫の資格を得た、
 矢張り郷里が良い、と平町

へ引上げて来て田町元横内
 耳鼻科の開業したのが
 つい先頃地方人は大尉の齒
 醫者さんとしてその篤學に
 感服してゐる

密カンの袋皮が 喉に引掛つて 十一歳の小兒窒息慘死

活動の眞似事中に 視したと

石城郡湯本町大字湯本字八
 仙入山炭礦坑夫飯島ウメの
 長男三代喜(こ)は十八日午
 後二時頃母親より貰つた一
 錢の小使で密柑を買ひ同炭
 礦糧食部前にて他の友達と
 共に密柑を食へ乍ら活動寫
 眞の活劇を眞似をして居た
 がイキナリ飲み込んだ密柑
 の袋皮が喉につかへ呼吸困
 難に陥りよろけながら家に
 歸り表戸に突き當つて倒れ
 たため母親は驚き入山病院に
 擔ぎ込んだが手當の効なく
 窒息死亡し平署七海部長檢

未納を督促 木炭組合にて

濱三郡木炭同業組合は昨年
 末組合金の未納問題で可成
 の紛糾を見たが今年次既に
 組合金納入期間を未だ未
 だに大半の組合金は未納の
 儘で組合當局では目下盛ん
 に納入の督促に努めてゐる

西洋型漁船 縣下最大の物 酒井氏が建造

石城郡江名町酒井辰造氏は
 鯉まぐろ漁業のため三萬七
 千三百十八圓で西洋型七十
 馬力四十三トンの大型漁業
 汽船を建造する事になり縣
 三萬餘圓で

文藝投稿家へ 文藝 投稿が大分集つて居ります

其内の佳作は新年の初刷り
 に掲載する豫定です、尚ほ
 紙上への發表は匿名であつ
 たとしても住所氏名は明ら
 かにして置いて下さい

西洋料理組 役員の名

平町西洋料理組合にては既
 記の如く十七日午後三時よ
 りカフェエターラ樓上にて
 創立發會式を擧げ森川組合
 長の挨拶あつて猪狩平警察
 署長一場の訓示を述べ宴に
 移り高崎金春亭主人其他の
 テープルスビーチ等あり仲
 々盛況を極めた因に組合役



霜やけこびり

寒いこの頃から俗に云ふ荒
 れ性の人は霜焼けや「ひび」

『あかぎれ』等に悩まされる
 ことが多くなりました、霜
 焼けは寒さに對する皮膚の
 抵抗力の弱さから來るもの
 でこれに對抗する強さを持
 つて居れば決して之に冒さ
 れるものではありません、
 その第一の方法としてはた
 だ冬のみでなく常々から皮
 膚強壯の途を圖つて置くや

非常線の獲物は 窃盜犯と駈落者

平署の非常召集の副産物と
 して十八日午前五時頃平署
 前を徘徊中の舉動不審の男
 女あるを引捕へ直ちに取
 調の結果男は當時茨城縣多
 賀郡居住自轉車業耶麻郡翁

平署の非常召集 他を附議するが株主配當は 一年一回である

年増の男女 自轉車屋と 工夫の女房

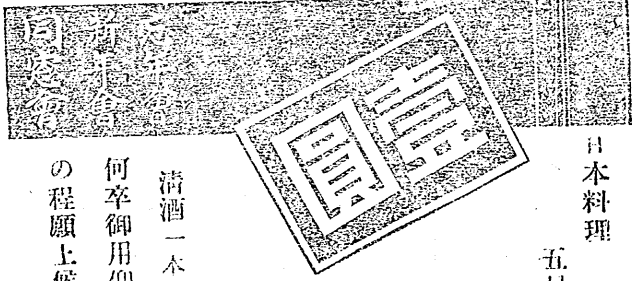
平署の非常召集の副産物と
 して十八日午前五時頃平署
 前を徘徊中の舉動不審の男
 女あるを引捕へ直ちに取
 調の結果男は當時茨城縣多
 賀郡居住自轉車業耶麻郡翁

警察事故 豊漁に恵まれ 新暮から舊暮にかけてコン 泥や賭博等が頻に行はれる

石城郡四倉町地方では例年
 新暮から舊暮にかけてコン
 泥や賭博等が頻に行はれる

平町人事 出生

- △研町八 伴喜三治氏二男昭二
- △鍛冶町三一 當時橋太眞岡郡吉岡 忠行長男忠
- △立町三 當時橋太眞岡郡吉岡 東通瀬谷光利氏二男光男
- △結婚
- △石城郡内郷村物品販賣業 松村慶 治氏(六〇)長橋町二九 木田ヤス (三四)
- △舊城跡二九 國安新(一九)



平町南町 大和屋 電話一四番

清酒一本附 何卒御用仰付 の程願上候